

iiyama

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite L404W

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR®プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードを動かすと、
電源がONになったりOFFになったりする。
- キャビネットが異常に熱い。
- 煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- 使用中に異常な音や振動などがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
特長	5
標準付属品	5
設置方法	6
各部のなまえ	7
リモコンの準備	10
コンピュータとの接続	11
コンピュータの設定	12
基本操作	13
操作手順	16
調整メニューの内容	17
画面の調整	27
パワーマネジメント機能	29
故障かなと思ったら	30
クリーニング	31
アフターサービス	32
保証書/保証期間について	32
修理サービス	32
オプション部品	32
リサイクル/廃棄について	32
付録	33
一般仕様	33
外形寸法図	34
対応信号タイミング	35
信号入力コネクタのピン配列	36

安全にご使用いただくために

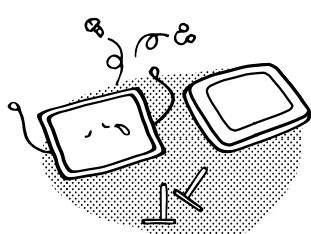
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠️警告

万一、異常が発生したら

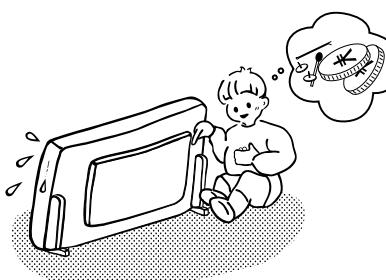


煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



キャビネットは外さない、改造しない

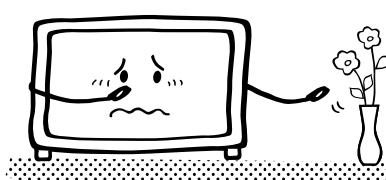
内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。



異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特に子供のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

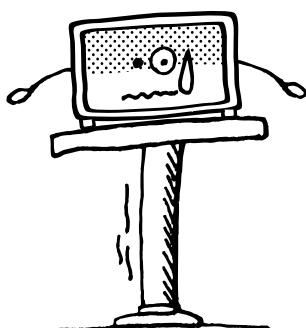


花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告



禁止



プラグを
抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

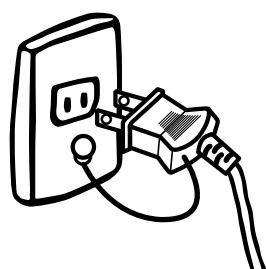
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを
接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

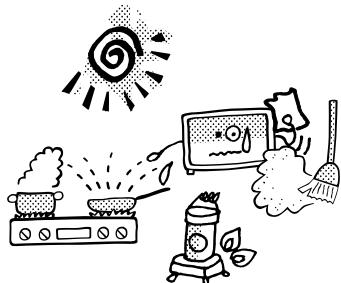


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

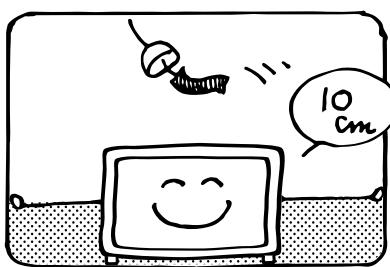
⚠ 注意



置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 热器具の近く

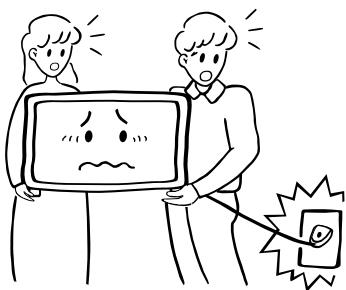


通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

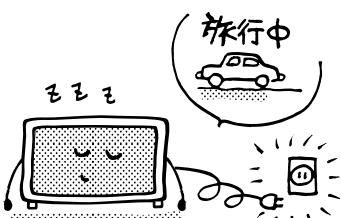
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。また、モニタは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

⚠ 注意



ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源スイッチのONとOFFを繰り返さないで

故障の原因となります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

使用的する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

日本語

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善していきますが、改善されないまま前の画面パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
 - ・画面の表示パターンを変える。
 - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 39.6インチワイドTFTカラー液晶モニタ
- ◆ 最大1280×1024モード (SXGAダウンスケール) をサポート
- ◆ 超広視野角高コントラストパネル採用
- ◆ デジタルスマージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B / DDC-CI対応
Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ 省電力設計
 - パワーマネージメント機能搭載
- ◆ 鮮明な画像を実現するデジタル入力対応
- ◆ RS-232Cインターフェイスコントロール
- ◆ PIP, PBPマルチスクリーン機能搭載
- ◆ 多彩なVIDEO系入力をサポート
- ◆ D-SUB出力コネクタ, コンポジットビデオ出力コネクタを装備
- ◆ 設置場所の明るさに合わせた自動輝度調整機能搭載

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| ■ 電源コード* | ■ D-SUB信号ケーブル MB37 |
| ■ DVI-D信号ケーブル DV66 | ■ RS-232Cケーブル SR51 |
| ■ スタンド 2個 | ■ スタンド取り付けネジ 4個 (M8×12mm) |
| ■ リモコン | ■ 単3形乾電池 2個 |
| ■ 取扱説明書/保証書 (本書) | |

補足 * 1.次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

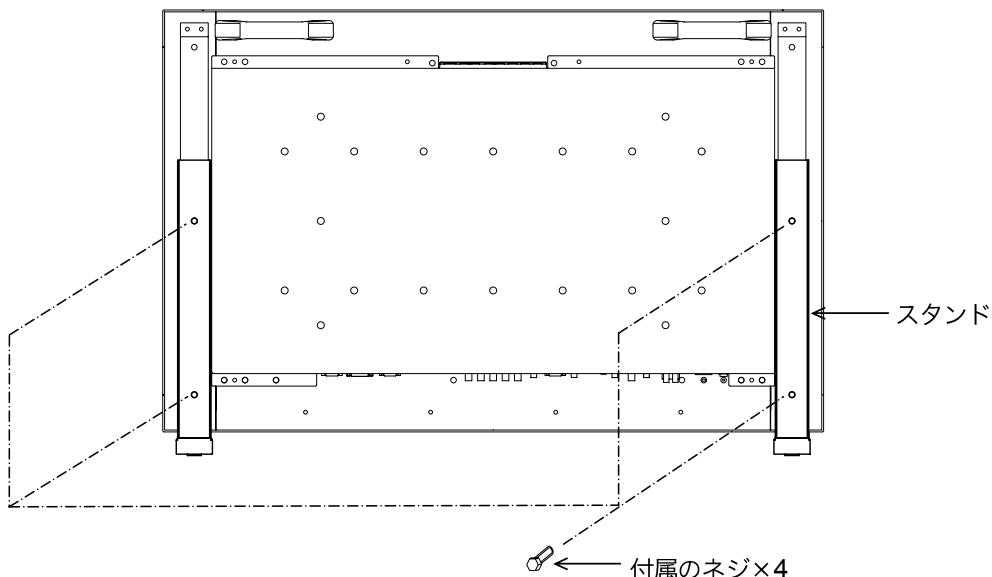
- 付属以外の電源コードをお使いになる場合
- 日本以外の国でお使いになる場合サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

2.付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

- △ 注意**
- モニタは重いので、2人以上で作業を行ってください。
 - スタンドの取り付けは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。
 - モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
 - 取り付けを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

スタンドの取り付け

下図の様にスタンドを取り付け、付属のネジ(M8×12mm)で固定します。
推奨締め付けトルクは1~1.5N·m(10~15kgf·cm)以上です。



壁への取り付け

本製品を壁に固定してお使いになる場合は、下記注意事項を守ってください。

① 取り付け時の温度と湿度

P.34 「一般仕様」に記載されている環境条件を超えないでください。

② 使用するネジ

■ M6

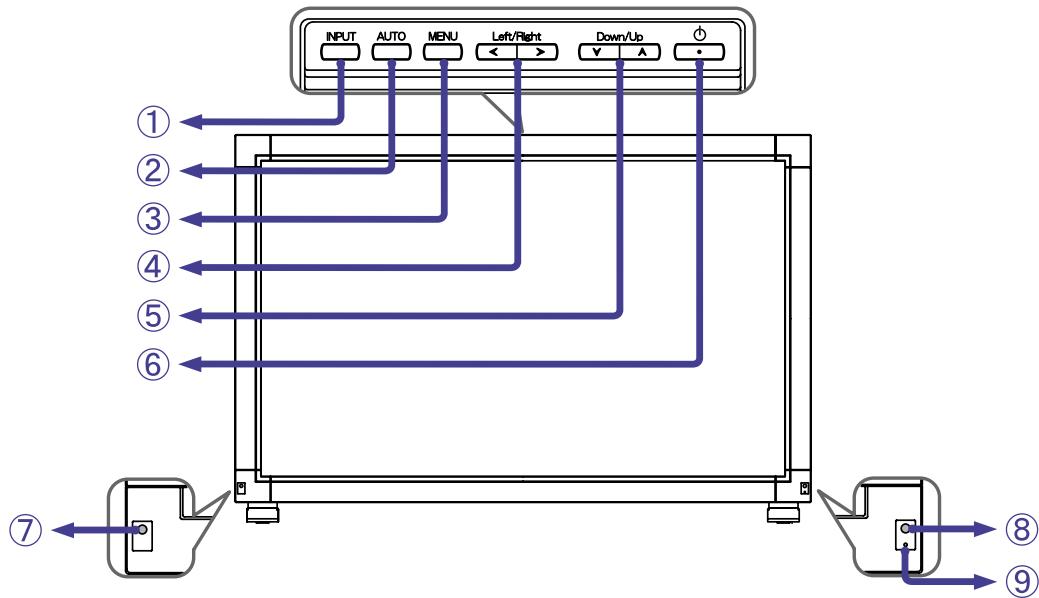
■ 長さ：本体への締め付け長さが10~15mmとなるネジを使用してください。

■ 数量：6本以上で固定してください。

補足 Portrait設置時の注意

Portrait設置は左回り90° 回転のみ可能です。右回り90° 回転での設置はスクリーンにダメージを与える可能性があります。

各部のなまえ



前面

① INPUTボタン (INPUT)

② AUTOボタン (AUTO)

クロック, フェーズ, 水平位置調整, 垂直位置調整の4項目を自動で調整します。

補足 ■ この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。

(P.22 「画面の調整」 参照)

③ MENUボタン (MENU)

④ 音量調整 / カーソル左右ボタン (</>)

⑤ カーソル上下ボタン (▼/▲)

⑥ 電源ボタン (○)

⑦ 自動輝度調整センサー受光部

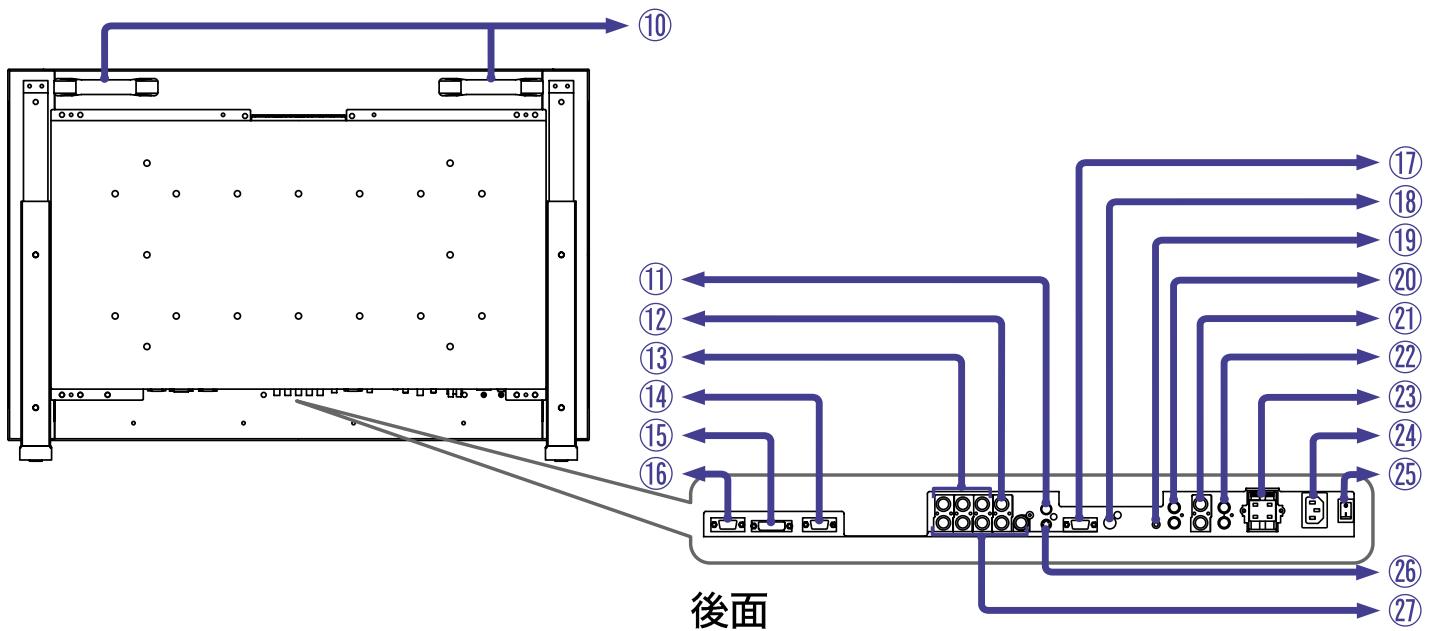
⑧ リモコン受光部

⑨ 電源ランプ

補足 青色点灯 : 通常動作時

橙色点灯 : パワーマネージメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります。



⑩ 取手

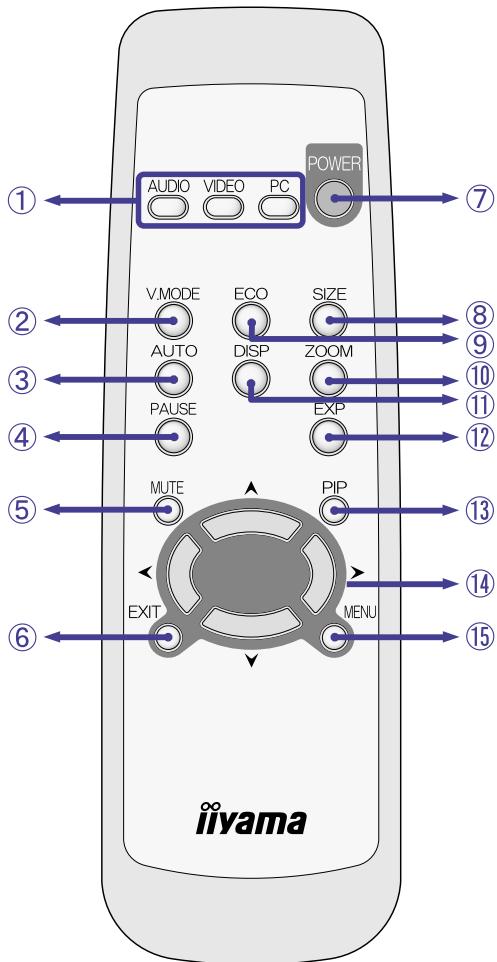
- ⑪ コンポジットVIDEOコネクタ (VIDEO) *1
- ⑫ コンポジットVIDEOコネクタ (VIDEO) *1
- ⑬ コンポーネントVIDEOコネクタ (Y,Pb,Pr)
- ⑭ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB)
- ⑮ DVI-D24ピンコネクタ (DVI)
- ⑯ RS-232Cコネクタ (RS-232C)
- ⑰ ANALOG-OUTコネクタ (D-SUB OUT) *3
- ⑱ コンポジットVIDEO-OUTコネクタ (VIDEO OUT) *2
- ⑲ AUDIO-IN1コネクタ (IN1)
- ⑳ AUDIO-IN2コネクタ (IN2)
- ㉑ AUDIO-IN3コネクタ (IN3)
- ㉒ AUDIO-OUTコネクタ (OUT) *4
- ㉓ 外部スピーカー出力端子 (SPEAKER)
- ㉔ 電源コード接続コネクタ (AC IN)
- ㉕ 主電源スイッチ (POWER)
- ㉖ S-VIDEOコネクタ (S-VIDEO)
- ㉗ PC用BNCコネクタ (R, G, B, H, V)

補足 *1 ⑪と⑫のコネクタは同時に接続しないでください。

*2 ⑪と⑫のコネクタが接続されている方の映像を出力します。

*3 ⑭と㉗のうち画面に表示している方の映像を出力します。

*4 ⑲と㉐と㉑のうち選択されている方の音声を出力します。



リモコン

日本語

*ZOOM (ズーム)

メニュー画面を表示していない時にZOOMボタンを押すと、ズームメニューが表示されます。

- Off: 元の画面に戻ります
- On: Zoom Down/Upを有効にします
- Zoom Down:画面を戻します
- Zoom Up: 画面を拡大します

再びZOOMボタンを押すとズームポイントを移動させることができます。

- Left: 左側へ移動
- Right: 右側へ移動
- Down: 下側へ移動
- Up: 上側へ移動

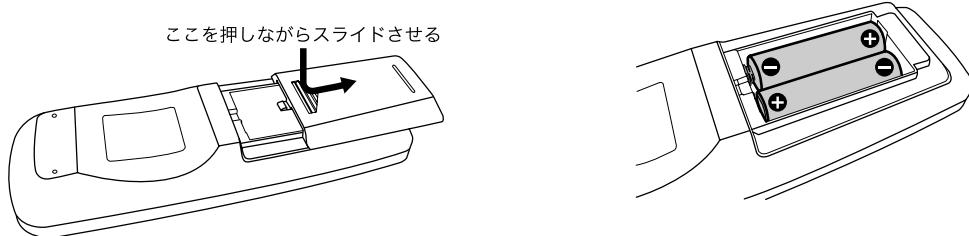
- ① **AUDIO/VIDEO/PC (映像/音声入力切替)**
- ② **V.MODE (映像モード)**
PC/ビデオ入力時、お好みの映像を選択します。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。
→標準→映画→ゲーム
- ③ **AUTO (自動調整) [PCアナログ入力時のみ]**
クロック、位相、水平位置調整、垂直位置調整の4項目を自動で調整します。
補足 ■この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。(P.27「画面の調整」参照)
- ④ **PAUSE (映像ロック)**
メニュー画面を表示していない時に、画面に表示されている映像をロックすることができます。再度押すと解除されます。
- ⑤ **MUTE (消音)**
音声を一時的に消します。再度押すと、もとの音量に戻ります。
- ⑥ **EXIT (戻る)**
メニュー画面を表示させているとき、画面の状態をひとつ前の状態に戻します。
- ⑦ **POWER (電源ボタン)**
- ⑧ **SIZE (画面サイズ)**
お好みの画面サイズを選択します。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。
■PC入力時:
→フル→Off→アスペクト
■ビデオ入力時:
→フル→ワイド→アスペクト
- ⑨ **ECO (エコノミーモード)**
バックライトの明るさを切り換えてモニタの消費電力を抑えることができます。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。
→モード1→モード2→Off
- ⑩ **ZOOM (ズーム) ***
ズームメニューを表示します。
- ⑪ **DISP (画面表示)**
次の情報を画面に表示します。
■信号入力ポート ■音声入力ポート
- ⑫ **EXP (拡張機能)**
■製品バージョン ■稼働時間表示
- ⑬ **PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー)**
PIPのモードを切り換えます。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。
→PIP→PBP→Off
- ⑭ **音量調整 /カーソル左右移動 (<小/大)
カーソル上下移動 (▼逆/▲順)**
- ⑮ **MENU (メニュー)**
メニュー画面を表示します。再度押すとメニュー画面が消えます。

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れ、使えるようにします。

△ 注意 リモコンに指定以外の電池や、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。また、リモコンに電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナス）に従って正しく入れてください。電池が破裂したり液もれすることにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。

- ① リモコン裏面の電池ケースのふたを、右図のようにスライドして開きます。
- ② 乾電池のプラス/マイナス方向を間違えないように入れます。
- ③ 電池ケースのふたをスライドして閉めます。



- 補足**
- リモコンをモニタの近くで操作しても動作しなくなったら、電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。使用電池は単3形乾電池です。
 - リモコンはモニタ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
 - 市販のリモコンは使用できません。必ず付属のリモコンをご使用ください。

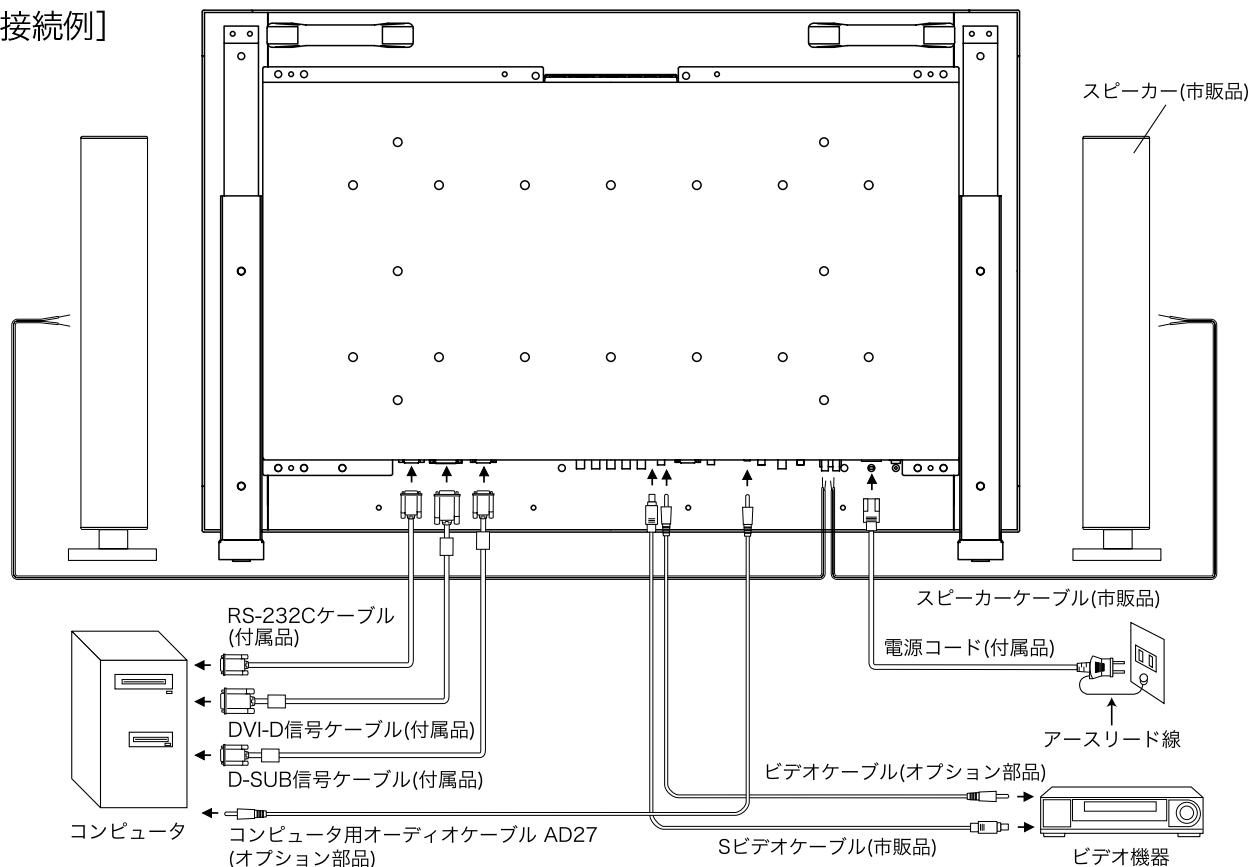
⚠ 警告 ■ 安全のため、必ずアースリード（黄/黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

⚠ 注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
 - ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.36 「信号入力コネクタのピン配列」 参照)
- 補足** 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
- ③ RS-232Cコントロール機能を使用する場合は、RS-232Cケーブルをコンピュータに接続します。(P.36 「信号入力コネクタのピン配列」 参照)
 - ④ オーディオ機器を使用する場合は、コンピュータ用オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。
 - ⑤ スピーカーを使用する場合は、スピーカーケーブルをモニタとスピーカーに接続します。
- 補足** ■ スピーカーは10W(4Ω)相当の製品を接続してください。
- ⑥ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。

[接続例]



接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブルMB37 (付属品)		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98		変換アダプタPC98 パートNo.242Z020-01		
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パートNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル MB37 (付属品)	DVI-D 24ピン
Macintosh*1	D-SUB 15ピン Apple Display Connector	ADC-DVI変換アダプタ 市販品 推奨品 Dr.Bott DVI Extractor2	DVI-D信号ケーブル*2 DV66 (付属品)	
AT互換機 (DOS/V) IBM	DVI-D 24ピン または DVI-I 29ピン	DVI-D信号ケーブル*2 DV66 (付属品)		DVI-D 24ピン
Macintosh				

補足 *1 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

*2 デジタル信号のみ対応可能なケーブルです。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

映ることを確認しながら、本製品がサポートしているお好みの解像度（P.35「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルが必要になる場合があるので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

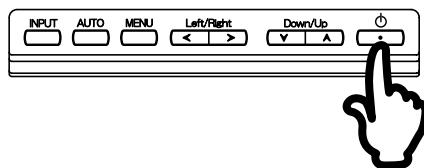
補足

- ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
- MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

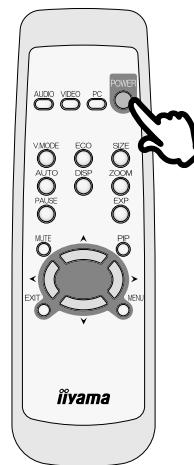
■ 電源を入れる

本体裏面の主電源スイッチをONにします。この状態でモニタ本体のPOWERボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押すと、モニタの電源がONになります。再度押すとOFFになります。

【モニタ本体】POWERボタンを押す。



【リモコン】POWERボタンを押す。



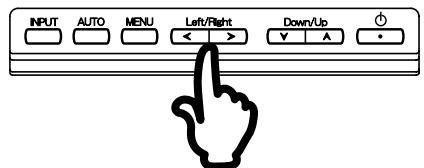
補足 POWERボタンで電源をOFFにしてもわずかに電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず主電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

■ 音量を調整する、カーソルを左右に移動させる

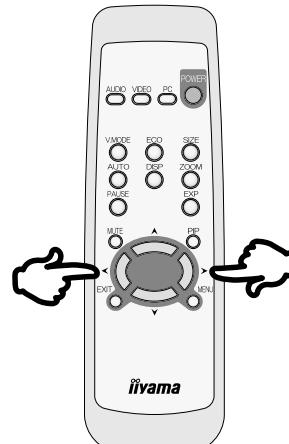
画面にメニューページが表示されていないときにモニタ本体の音量調整/カーソル左右(</>)ボタンまたはリモコンの音量調整/カーソル左右(</>)ボタンを押すと、スピーカーの音量を調整することができます。

画面にメニューページが表示されているときは、メニューや設定を選択したり、調整を行います。

【モニタ本体】音量調整/カーソル左右(</>)ボタンを押す。



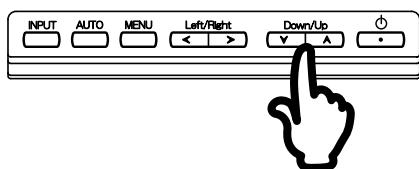
【リモコン】音量調整/カーソル左右(</>)ボタンを押す。



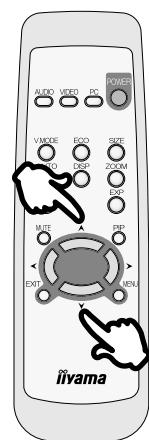
■ カーソルを上下に移動させる

画面にメニューページが表示されているときに、モニタ本体またはリモコンのカーソル上下(▼/▲)ボタンを押すと、調整項目を選択します。

【モニタ本体】 カーソル上下(▼/▲)ボタンを押す。



【リモコン】 カーソル上下(▼/▲)ボタンを押す。

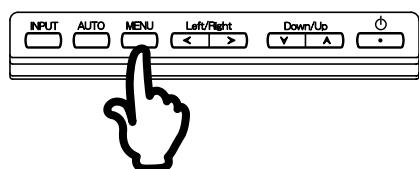


■ メニューページを表示させる

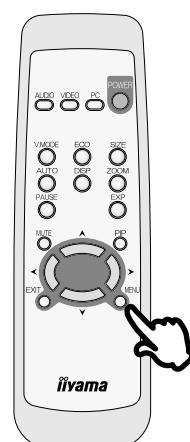
モニタ本体のMENUボタンまたはリモコンのMENUボタンを押すと画面にメニューページが表示されます。

再度MENUボタンを押すと、メニューページが消えます。

【モニタ本体】 MENUボタンを押す。

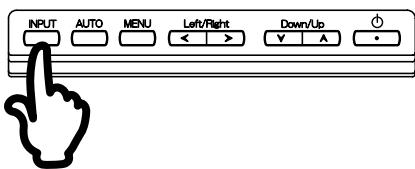


【リモコン】 MENUボタンを押す。



■ 入力信号を切り換える

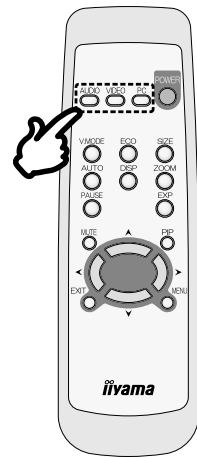
【モニタ本体】 INPUTボタンを押す。



ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



【リモコン】AUDIO/VIDEO/PCボタンを押す。



- AUDIOボタンを押すと、オーディオ入力に切り換わります。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→IN1 → IN2 → IN3 →

- VIDEOボタンを押すと、ビデオ入力に切り換わります。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→ビデオ→Sビデオ→コンポーネント

- PCボタンを押すと、PC入力に切り換わります。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

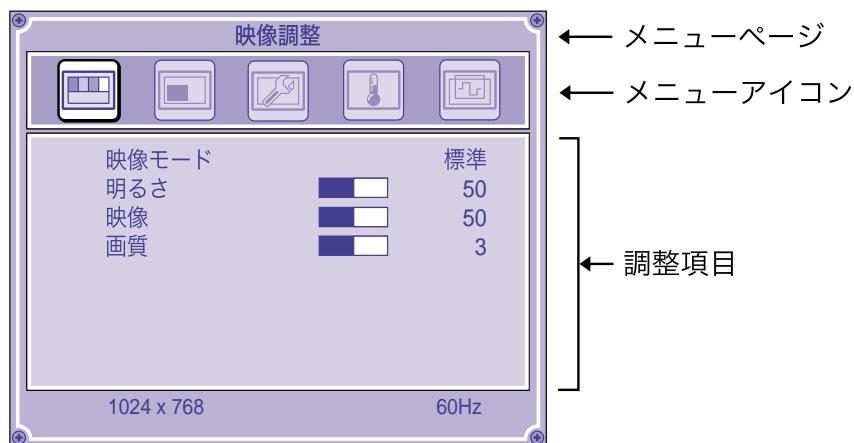
→ D-SUB → BNC → DVI →

操作手順

P.35の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

- ① MENUボタン（モニタ本体またはリモコン）を押すと、画面にメニューが表示されます。</>ボタン（モニタ本体またはリモコン）でページを送ります。

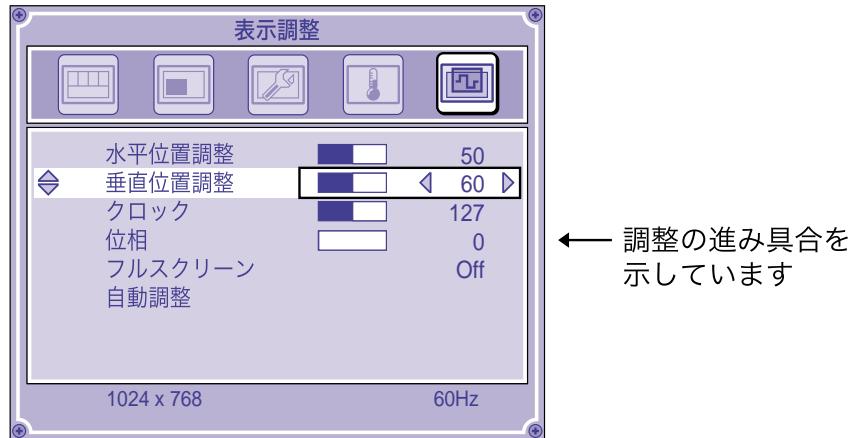


- ② 調整したい項目があるメニュー画面(ページ)を表示し、▼/▲ボタンで調整する項目を選択します。

- ③ </>ボタンで調整や設定を行います。

リモコンのEXITボタンを押すか、カーソルを一番上の調整項目にして▲ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。

例えば垂直位置を調整したいときは、まず</>ボタンで表示調整メニューのページを表示させます。次に▼/▲ボタンで「垂直位置調整」を選択し、</>ボタンでお好みの画面に調整します。



補足

- 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。
- オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- クロック、位相、位置調整の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については、全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語選択(Language)で日本語を選択した場合を黒色、英語を選択した場合を青色にて記載しています。

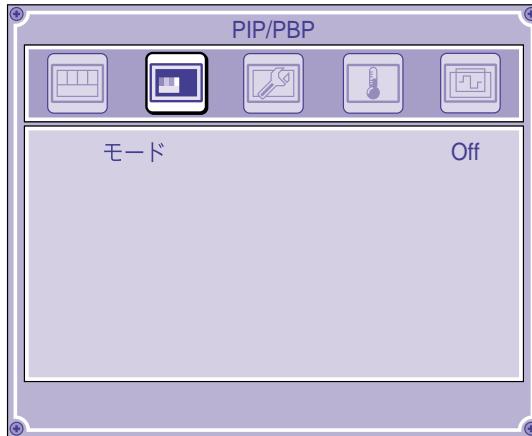
PC入力時

映像調整 Picture Control (PC入力)



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン
映像モード Video Mode	標準	通常
	映画	映画などの暗い画像に適した設定にします
	ゲーム	ゲームに適した設定にします
明るさ Brightness		暗すぎる 明るすぎる
映像 Contrast		弱すぎる 強すぎる
画質 Sharpness		画面がボケている 画面がザラザラしている

PIP/PBP PIP/PBP (PC入力)



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン		
モード <i>Mode</i>	Off	機能をオフにします		
	PIP	PIPサイズ	サブ画面のサイズが小さすぎる	
	PIP=		サブ画面のサイズが大きすぎる	
	ピクチャー・イン・ピクチャー： PC画像を大画面で映しながら、DVD/ビデオなどの映像をサブ画面(小画面)に映すことができます。また、DVD/ビデオなどの映像を大画面で映しながら、PC画像をサブ画面(小画面)に映すこともできます。	水平位置調整	サブ画面が左によっている	
			サブ画面が右によっている	
		垂直位置調整	サブ画面が上によっている	
			サブ画面を下によっている	
		入力切り換え	ビデオ	ビデオの映像をサブ画面に映します
			Sビデオ	S-ビデオの映像をサブ画面に映します
			コンポーネント	コンポーネントビデオの映像をサブ画面に映します
		画面入れ替え	メイン画面とサブ画面を入れ替えます	
補足 ➤ボタンを選択すると同時に画面を入れ替えます。				
PBP <i>PBP=</i> ピクチャー・バイ・ピクチャー： PC画像の画面とDVD/ビデオなどの映像を平行に並べて映すことができます。	入力切り換え	ビデオ	ビデオの映像をサブ画面に映します	
		Sビデオ	S-ビデオの映像をサブ画面に映します	
		コンポーネント	コンポーネントビデオの映像をサブ画面に映します	
	画面入れ替え	メイン画面とサブ画面を入れ替えます		➤
補足 ➤ボタンを選択すると同時に画面を入れ替えます。				

補足 PC入力の場合、垂直ライン数が768本以上の解像度ではPIPとPBPは使用出来ません。

その他の調整

Function (PC入力)

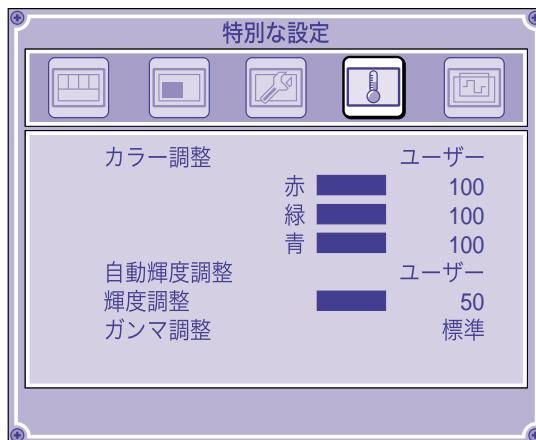


日本語

調整項目		画面の状態 / 調整ボタン		
OSD表示位置 OSD Position		左上/左下/中央/右上/右下		
エコノミーモード* Economy Mode	Off	通常		
	モード1	バックライトの明るさ約30%ダウン		
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン		
電源ランプ Power Indicator	Off	電源ON時に電源ランプを消灯します		
	On	電源ON時に電源ランプを点灯します		
言語選択 Language	English	英語表示	日本語	日本語表示
	Francais	フランス語表示	中文	中文表示
	Italiano	イタリア語表示	Nederlands	オランダ語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Русский	ロシア語表示
	Espanol	スペイン語表示	Svenska	スウェーデン語表示
自動ゲイン調整 Auto Balance	PCアナログ入力時のみ	R,G,B各色のゲインを最大の色階調になるよう自動的に調整します		
補足		<ul style="list-style-type: none"> ▶ボタンを選択すると同時に調整されます。 この機能を正常に動作させるには、画面上に5cm四方以上の白い領域が必要です。 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。 ビデオカードの組み合わせ、表示解像度、表示パターンにより、画面が暗くなるなど正確に調整できない場合があります。そのような場合は、その他の調整のリセットにより工場出荷設定に戻してご使用ください。 		
リセット Reset		全てのメニューの調整内容を工場出荷設定に戻します		
補足		▶ボタンを選択すると同時にリセットされます。		

* 自動輝度調整がONの時は、エコノミーモードがOFFになります。

特別な設定 Extended Control (PC入力)



調整項目			画面の状態 / 調整ボタン
カラー調整* ¹ Color Control	ユーザー	赤	弱すぎる
		緑	強すぎる
		青	
	9300K		やや青みがかったホワイト (約9300K)
	7500K		やや黄色がかったホワイト (約7500K)
	6500K		やや赤みがかったホワイト (約6500K)
	sRGB		sRGBモードになります

補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現（色彩、彩度等）の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGBを設定している時は、ガンマ補正が固定値となり調整できません。

自動輝度調整* ^{2,3} Auto Dimmer	ユーザー	バックライトの明るさを輝度調整で行います
	自動	バックライトの明るさを自動で調整します（3段階）
	固定* ⁴	バックライトの明るさを固定します

輝度調整* ² Dimmer		暗すぎる
補足 バックライトの明るさを調整します。		明るすぎる

ガンマ調整 Gamma	標準	標準の明るさにします
	明るい	標準の明るさより明るくします
	暗い	標準の明るさより暗くします

*¹ 表示される色温度の数値は、およその目安です。

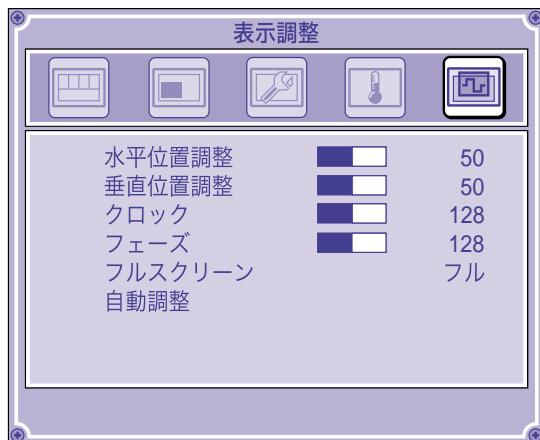
*² 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度調整を調整してください。

*³ 自動輝度調整がONの時は、エコノミーモードがOFFになります。

*⁴ 本機を2台以上並べてご使用される場合は、機器間の明るさを合わせることができます。

表示調整 Image Control (PC入力)

PCデジタル入力時は
フルスクリーンのみ



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
水平位置調整*2 H Position	[左] 左によっている [右] 右によっている	◀	▶
垂直位置調整*2 V Position	[下] 下によっている [上] 上によっている	◀	▶
クロック*2 Clock	模様、文字がにじんだりちらついている	◀	▶
位相*2 Phase	模様、文字がにじんだりちらついている	◀	▶
フルスクリーン Full Screen	フル	画面いっぱいに拡大表示します	
	Off	入力されている信号のサイズで表示します	
	アスペクト	縦横比を固定し、拡大縮小表示します	
自動調整*1,2 Auto Set-up	クロック,位相,水平位置調整,垂直位置調整 の4項目を自動で調整します	◀	▶
補足		<ul style="list-style-type: none"> ▶ボタンを選択すると同時に自動調整されます。 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。 	

*1 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。

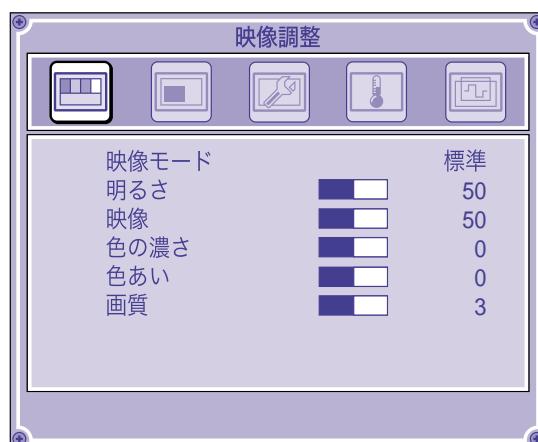
*2 調整方法および手順については、P.27 「画面の調整」 を参照してください。

ビデオコンポーネント入力時

映像調整

Picture Control

(ビデオコンポーネント入力)

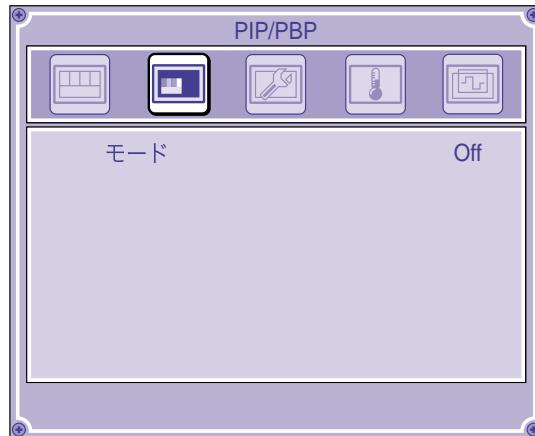


調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
映像モード Video Mode	標準	通常
	映画	映画などの暗い画像に適した設定にします
	ゲーム	ゲームに適した設定にします
明るさ Brightness	暗すぎる 明るすぎる	◀ ▶
映像 Contrast	弱すぎる 強すぎる	◀ ▶
色の濃さ Saturation	色が薄い 色が濃い	◀ ▶
色あい Tint	色が紫がかっている 色が緑がかっている	◀ ▶
画質 Sharpness	画面がボケている 画面がザラザラしている	◀ ▶

PIP/PBP

PIP/PBP

(ビデオコンポーネント入力)



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン				
モード Mode		機能をオフにします				
PIP	PIPサイズ	サブ画面のサイズが小さすぎる	◀	▶		
PIP=		サブ画面のサイズが大きすぎる	◀	◀		
ピクチャー・イン・ピクチャー： PC画像を大画面で映しながら、DVD/ビデオなどの映像をサブ画面(小画面)に映すことができます。また、DVD/ビデオなどの映像を大画面で映しながら、PC画像をサブ画面(小画面)に映すこともできます。	水平位置調整	サブ画面が左によっている	◀	▶		
		サブ画面が右によっている	◀	◀		
	垂直位置調整	サブ画面が上によっている	◀	▶		
		サブ画面が下によっている	◀	◀		
入力切り換え	D-SUB	D-SUBの映像をサブ画面に映します				
	BNC	BNCの映像をサブ画面に映します				
	DVI	DVIの映像をサブ画面に映します				
画面入れ換え	メイン画面とサブ画面を入れ替えます			◀▶		
補足 ▶ボタンを選択すると同時に画面を入れ替えます。						
PBP PBP=	入力切り換え	D-SUB	D-SUBの映像をサブ画面に映します			
		BNC	BNCの映像をサブ画面に映します			
		DVI	DVIの映像をサブ画面に映します			
画面入れ換え	画面入れ換え	メイン画面とサブ画面を入れ替えます				
補足 ▶ボタンを選択すると同時に画面を入れ替えます。						

補足 ビデオコンポーネント(1080i)入力は、PIPとPBPは使用出来ません。

その他の調整

Function

(ビデオコンポーネント入力)



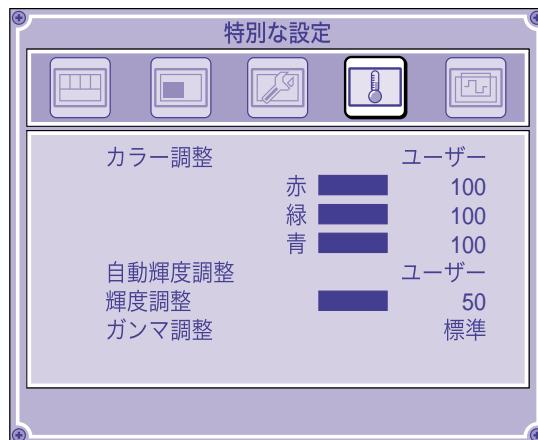
調整項目		画面の状態 / 調整ボタン		
OSD表示位置 OSD Position		左上/左下/中央/右上/右下		
エコノミーモード* Economy Mode	Off	通常		
	モード1	バックライトの明るさ約30%ダウン		
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン		
電源ランプ Power Indicator	Off	電源ON時に電源ランプを消灯します		
	On	電源ON時に電源ランプを点灯します		
言語選択 Language	English	英語表示	日本語	日本語表示
	Francais	フランス語表示	中文	中文表示
	Italiano	イタリア語表示	Nederlands	オランダ語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Русский	ロシア語表示
	Espanol	スペイン語表示	Svenska	スウェーデン語表示
ノイズ低減 Noise Reducer	Off	ノイズ低減機能をオフにします		
	弱	ノイズを低減します (低減効果: 弱)		
	強	ノイズを低減します (低減効果: 強)		
補足 映像によっては画面全体がぼやける場合があります。				
Film モード Film Mode	Off	FILMモードをオフにします		
	On	映画などのフィルム撮影された映像をガタつきの少ない自然な表示にします		
リセット Reset		全てのメニューの調整内容を工場出荷設定に戻します		
補足 ➤ボタンを選択すると同時にリセットされます。				

* 自動輝度調整がONの時は、エコノミーモードがOFFになります。

特別な設定

Extend Control

(ビデオコンポーネント入力)



調整項目			画面の状態 / 調整ボタン
カラー調整* ¹ Color Control	ユーザー	赤	弱すぎる
		緑	強すぎる
		青	
	9300K	やや青みがかったホワイト (約9300K)	
	7500K	やや黄色がかったホワイト (約7500K)	
	6500K	やや赤みがかったホワイト (約6500K)	
	sRGB	sRGBモードになります	
補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現（色彩、彩度等）の違いを規定・統一した国際規格です。 ■ sRGBを設定している時は、ガンマ補正が固定値となり調整できません。			
自動輝度調整* ^{2,3} Auto Dimmer	ユーザー	バックライトの明るさを輝度調整で行います	
	自動	バックライトの明るさを自動で調整します（3段階）	
	固定* ⁴	バックライトの明るさを固定します	
輝度調整* ² Dimmer		暗すぎる	
補足 バックライトの明るさを調整します。		明るすぎる	
ガンマ調整 Gamma	標準	標準の明るさにします	
	明るい	標準の明るさより明るくします	
	暗い	標準の明るさより暗くします	

*¹ 表示される色温度の数値は、およその目安です。

*² 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度調整を調整してください。

*³ 自動輝度調整がONの時は、エコノミーモードがOFFになります。

*⁴ 本機を2台以上並べてご使用される場合は、機器間の明るさを合わせることができます。

表示調整
Image Control
(ビデオコンポーネント入力)



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
水平位置調整* H Position	<input type="checkbox"/> 左によっている		
	<input type="checkbox"/> 右によっている		
垂直位置調整* V Position	<input type="checkbox"/> 下によっている		
フルスクリーン Full Screen	<input type="checkbox"/> 上によっている		
	フル	画面いっぱいに拡大表示します	
	ワイド	画面中央付近の縦横比率を保った状態で拡大します	
	アスペクト	縦横比を固定し、拡大縮小表示します	

* 調整方法および手順については、P.27 「画面の調整」を参照してください。

画面の調整

アナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、 1280×768 の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。 1280×768 未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は 1280×768 の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」にして30分以上経ってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法として位置調整、クロック、フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、位置ずれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも弊社ホームページ (<http://www.iiyama.co.jp>) にてダウンロードできるTest.bmp (画面調整パターン) を壁紙に登録して調整を行います。

操作手順

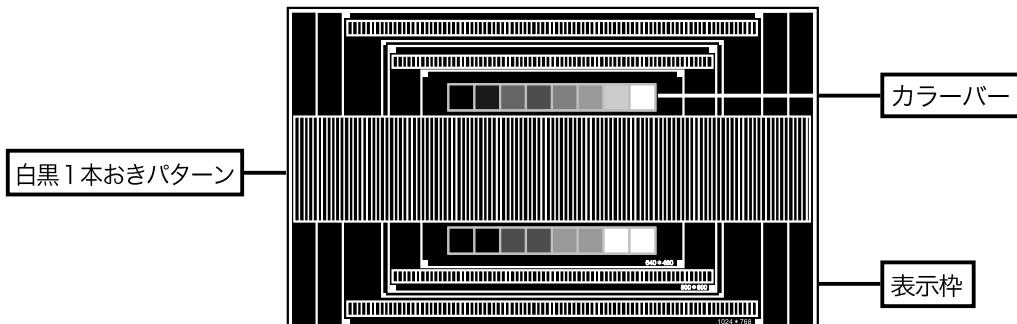
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

- ① 調整メニューのフルスクリーンをオフにし、画面を等倍表示にしてください。
- ② Test.bmp(画面調整パターン)を壁紙に登録します。

補足

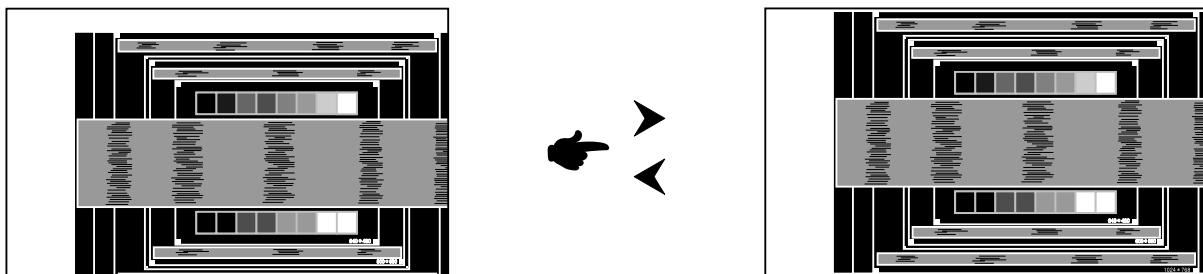
- 登録方法はお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- Test.bmpは、 1280×1024 のサイズで作られています。コンピュータの設定で壁紙に登録する際、表示位置を必ず「中央」に設定してください。なお、Microsoft® PLUS! 95/98をご使用の場合は、「壁紙の大きさをスクリーンに合わせて調整する」の設定を解除してください。

[調整パターン]

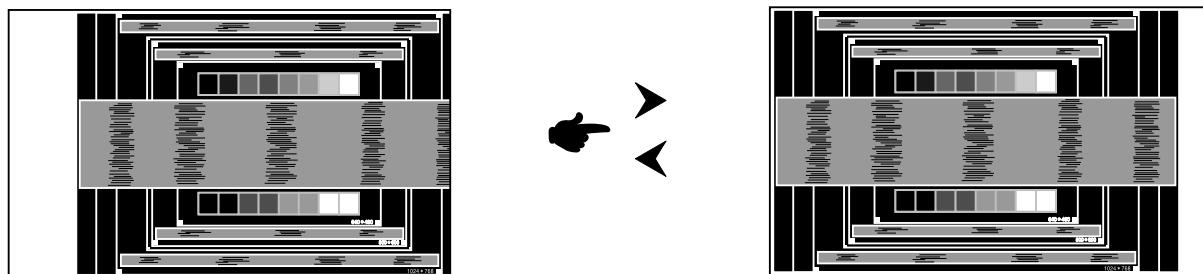


このパターンは、 1280×768 の解像度で表示した場合です。

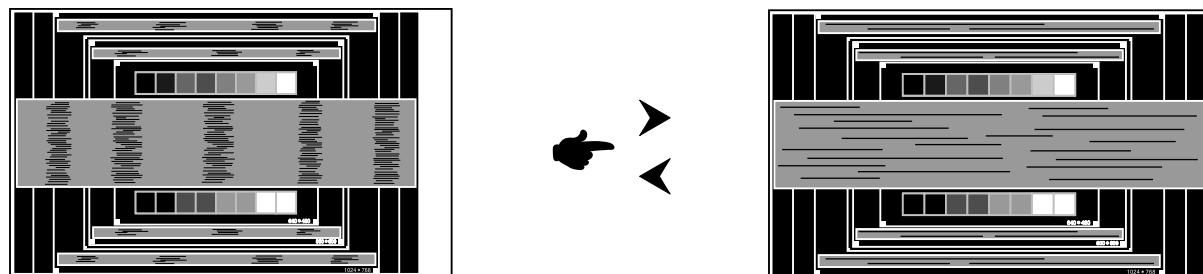
- ③ AUTOボタンを押します。 (自動調整)
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、位置ずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューの垂直位置調整にて調整パターン(壁紙)の上下枠が表示領域に入るよう調整します。



- ⑥ 1) 調整メニューの水平位置調整にて調整パターンの左枠が表示領域の左端にくるよう調整します。



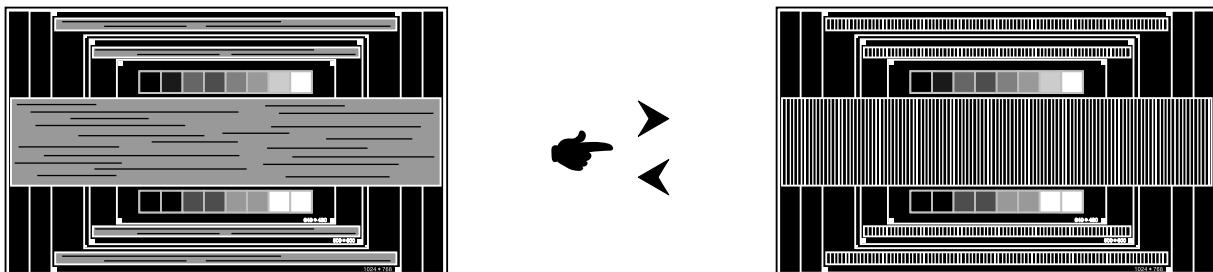
- 2) 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



補足

- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、1)と2)を交互に調整してください。
- クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- クロック、水平位置調整、垂直位置調整を調整中、画面が一瞬乱れることがあります、故障ではありません。
- クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。

- ⑦ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- 補足**
- フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑥からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。
 - フェーズを調整中、水平位置調整がずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平位置調整にて調整してください。

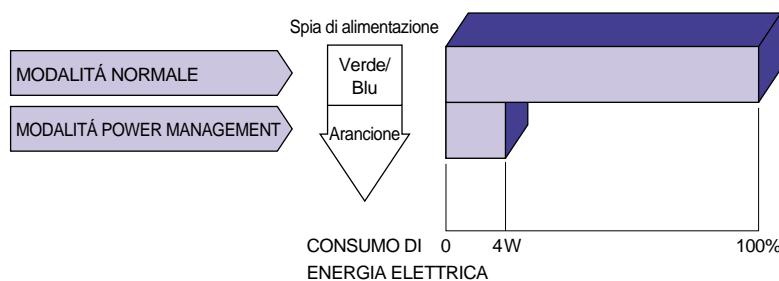
- ⑧ 最後に目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節し画面調整は完了です。お好みの壁紙に戻してください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力4W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケーターが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。またパワーマネージメントモードからの復帰は、パワーマネージメントに入る前の入力に信号を再入力するか、またはINPUTボタン(本体)、映像入力切替ボタン(リモコン)を2~3秒間押すと通常動作に戻ります。



- 補足**
- パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
 - 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。
 - VIDEO系(ビデオ, Sビデオ, コンポーネントビデオ)入力時は、パワーマネージメントモードには入りません。

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目はない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

- ① 映像が出ない
(インジケータ点灯せず)
- (インジケータ青色)
- (インジケータ橙色)
- ② 画面が乱れている
- ③ 画面の位置が片寄っている
- ④ 画面が明るすぎる／暗すぎる
- ⑤ 画面が揺れる
- ⑥ リモコンが操作できない
- 電源コードが確実に接続されていますか？
 - 電源スイッチが「ON」されていますか？
 - 電源コンセントに電気がきていますか？別の機器で確認してください。
 - インジケータ設定が「OFF」になっていませんか？
 - ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
 - 明るさおよび映像が最小になっていますか？
 - コンピュータの電源は入っていますか？
 - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
 - パワーマネージメント状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
 - 入力信号の選択は合っていますか？入力信号切り替えを切り替えてみてください。
 - コンピュータの電源は入っていますか？
 - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
 - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
 - コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
 - コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
 - 自動輝度調整モードになっていませんか？
 - 電源電圧は正常ですか？タコ足配線はやめてください。
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
 - リモコンの電池が消耗していませんか？
 - リモコンの電池の向きは正しいですか？
 - 蛍光灯などの強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？
 - リモコンとリモコン受光部の間に障害物はありませんか？
 - パワーマネージメントモードになっていませんか？パワーマネージメントモードでは、POWER, VIDEO/PCの入力切替ボタンのみ有効です。

クリーニング

！警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

！注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足 ■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 日本語定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より1年間です。ただし、中古販売の製品については1年間の保証は適用されません。
また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象にはなりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 12の表に記載されている品名とパートNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル/廃棄については、イーヤマ販売へお問い合わせください。

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

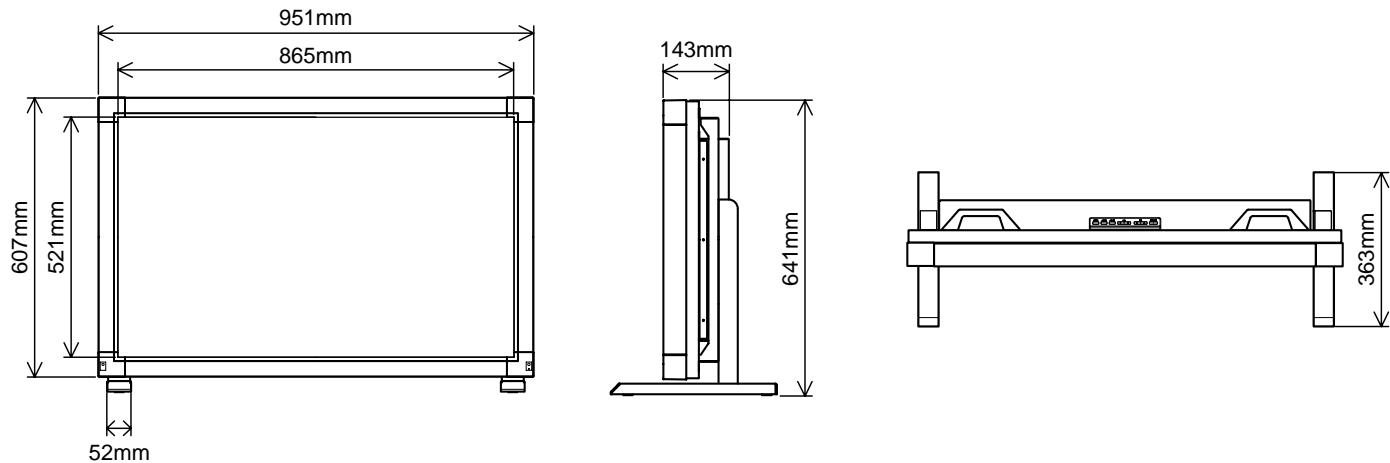
一般仕様

液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：100.5cm/39.6"
	画素ピッチ	水平 0.6735mm × 垂直 0.6735mm
	輝度	470cd/m ² (標準)
	コントラスト比	700 : 1 (標準)
	視野角	上下左右各85°
	応答速度	22ms (黒→白→黒)
最大表示色	16,777,216色	
走査周波数	水平：31.47～60.24kHz 垂直：56～75Hz	
ドットクロック	108.00MHz (最大)	
最大解像度	1280×1024, 1メガピクセル	
推奨解像度	1280×768, 1メガピクセル	
信号入出力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ (アナログIN) DVI-D 24ピンコネクタ (デジタルIN) BNC×5 (アナログIN) RCA (コンポジットビデオIN) * BNC (コンポジットビデオIN) * S端子 (SビデオIN) BNC×3 (コンポーネントビデオIN) D-SUBミニ15ピンコネクタ (アナログOUT) RCA (コンポジットビデオOUT)	
制御入力コネクタ	RS-232Cコネクタ	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™, DDC-CI対応	
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン： 0.3Vp-p, 負極性	
入力映像信号	アナログ： 0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性 デジタル： DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格 Rev.1.0) 準拠	
音声入出力コネクタ	ステレオミニジャック (オーディオIN1) RCA(L,R) (オーディオIN2) BNC(L,R) (オーディオIN3) RCA(L,R) (オーディオOUT) スピーカー端子	
入力音声信号	0.7Vrms(最大)	
スピーカー出力	10W×2 (4Ω, ステレオ)	
最大表示範囲	水平：862.080mm 垂直：517.248mm	
入力電源	AC100～230V 50/60Hz 2.3～1.0A	
消費電力	210W パワーマネージメントモード時 4W	

外形寸法	951(幅)×641(高)×363(奥行)mm
重量	32kg (スタンド含)
環境条件	動作時の温度 : 0~40°C 保管時の温度 : -20~60°C 湿度 : 85%最大(結露なきこと)
適合規格	CE, FCC-B, UL, CSA, VCCI-B

補足 * コンポジットビデオINのRCAとBNCコネクタは同時に接続しないでください。

外形寸法図



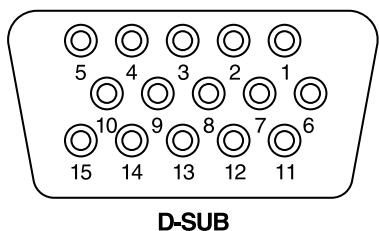
対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
	WXGA 1280×768	47.776kHz	59.870Hz	79.500MHz
		60.289kHz	74.893Hz	102.250MHz
	SXGA 1280×1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
VGA TEXT	720×400	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz
	1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz
NEC PC98	640×400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz

補足 *のタイミングはDVIに対応しておりません。

信号入力コネクタのピン配列

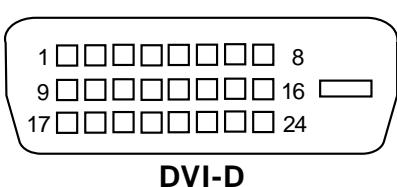
■ D-SUBミニ15ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤	9	5V in
2	緑	10	接地
3	青	11	接地
4	NC	12	DDCデータライン*
5	NC	13	水平同期
6	赤接地	14	垂直同期
7	緑接地	15	DDCクロックライン*
8	青接地		

*VESA DDC 規格に準拠

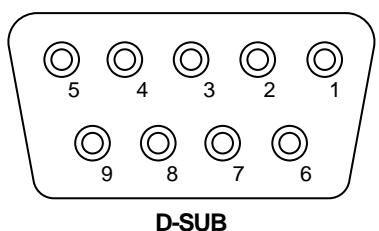
■ DVI-D 24ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2-	13	Not Connection
2	T.M.D.S Data2+	14	+5V Power
3	T.M.D.S Data2接地	15	接地
4	Not Connection	16	Hot Plug Detect
5	Not Connection	17	T.M.D.S Data0-
6	クロックライン (SCL) *	18	T.M.D.S Data0+
7	データライン (SDA) *	19	T.M.D.S Data0接地
8	アナログ垂直同期	20	Not Connection
9	T.M.D.S Data1-	21	Not Connection
10	T.M.D.S Data1+	22	T.M.D.S Clock接地
11	T.M.D.S Data1接地	23	T.M.D.S Clock+
12	Not Connection	24	T.M.D.S Clock-

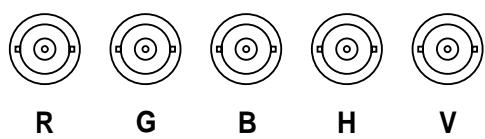
*VESA DDC 規格に準拠

■ RS-232C 9ピンコネクタ



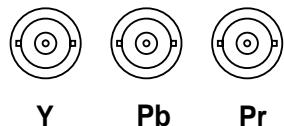
PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	NC	6	NC
2	TxD (Transmit Data)	7	NC
3	RxD (Receive Data)	8	RTS (Request To Sent)
4	NC	9	NC
5	接地		

■ PC BNCコネクタ



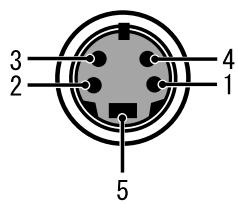
端子表示 入力信号	R	G/ SYNC	B	H/HV	V
セパレート同期	赤	緑	青	水平 同期	垂直 同期
コンポジット同期	赤	緑	青	コンポジット 同期	
シンク・オン・グリーン	赤	緑/ コンポジット 同期	青		

■ コンポーネントビデオコネクタ



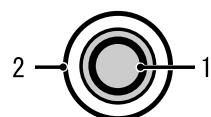
PIN	入力信号
Y	輝度信号
Pb	色差信号
Pr	色差信号

■ Sビデオコネクタ



PIN	入力信号
1	VG
2	VG
3	CIN
4	YIN
5	GND

■ コンポジットビデオコネクタ (RCA)



PIN	入力信号
1	VIN
2	GND

■ コンポジットビデオコネクタ (BNC)



PIN	入力信号
1	VIN
2	GND

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

